

# 大会ビジョンの構築について

## ■ 招致スローガン ■

*Discover Tomorrow*

～未来(あした)をつかもう～

Delivery / Celebration / Innovation



## ■ 策定プロセス ■

「Discover Tomorrow」を具体化、進化し、大会ビジョンを構築

シンプルで分かり易い表現

できる限り多くの人が参画

# 大会ビジョン構築に向けた意見聴取について

- みんなのTomorrow（人々の意見を集めるウェブサイト 7～9月）；約17万PV、2,164コメント
- 東京2020組織委員会 関係者（理事・参与・評議員・顧問・職員）へのヒアリング
- メディア・アスリートなど有識者へのヒアリング（専門委員会を開催）
- 小・中学生からの作文募集 ；約980校、約20,000人
- 連携大学（769大学）におけるフォーラムでの討論
- 政府へのヒアリング
- 東京都・被災3県を含めた全都道府県へのヒアリング
- JOC・JPC・JSC等のスポーツ団体へのヒアリング

アスリートからの視点

東京・日本・世界からの視点

みんなからの視点

# 大会ビジョンについて

|                      |                              |                          |                              |
|----------------------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 1. アスリート<br>からの視点    | アスリートが自己ベストを<br>達成できるような大会運営 | オリンピックやパラリンピックの<br>精神の浸透 | 大会後における更なるスポーツの普及            |
| 2. 東京・日本・<br>世界からの視点 | 大会運営に最高水準の<br>テクノロジーを活用      | 日本的価値観の発信                | 伝統や文化を未来へ引き継ぐ                |
| 3. みんなからの<br>視点      | 創意工夫をこらしたおもてなし               | 個人のアイディアを活かした<br>大会運営    | 東京1964大会の興奮を<br>東京2020大会に伝える |

■ 各視点に共通する基本コンセプト ■

全員が自己ベスト

多様性と調和

未来への継承

## TOKYO 2020 ビジョン

スポーツには世界と未来を変える力がある。

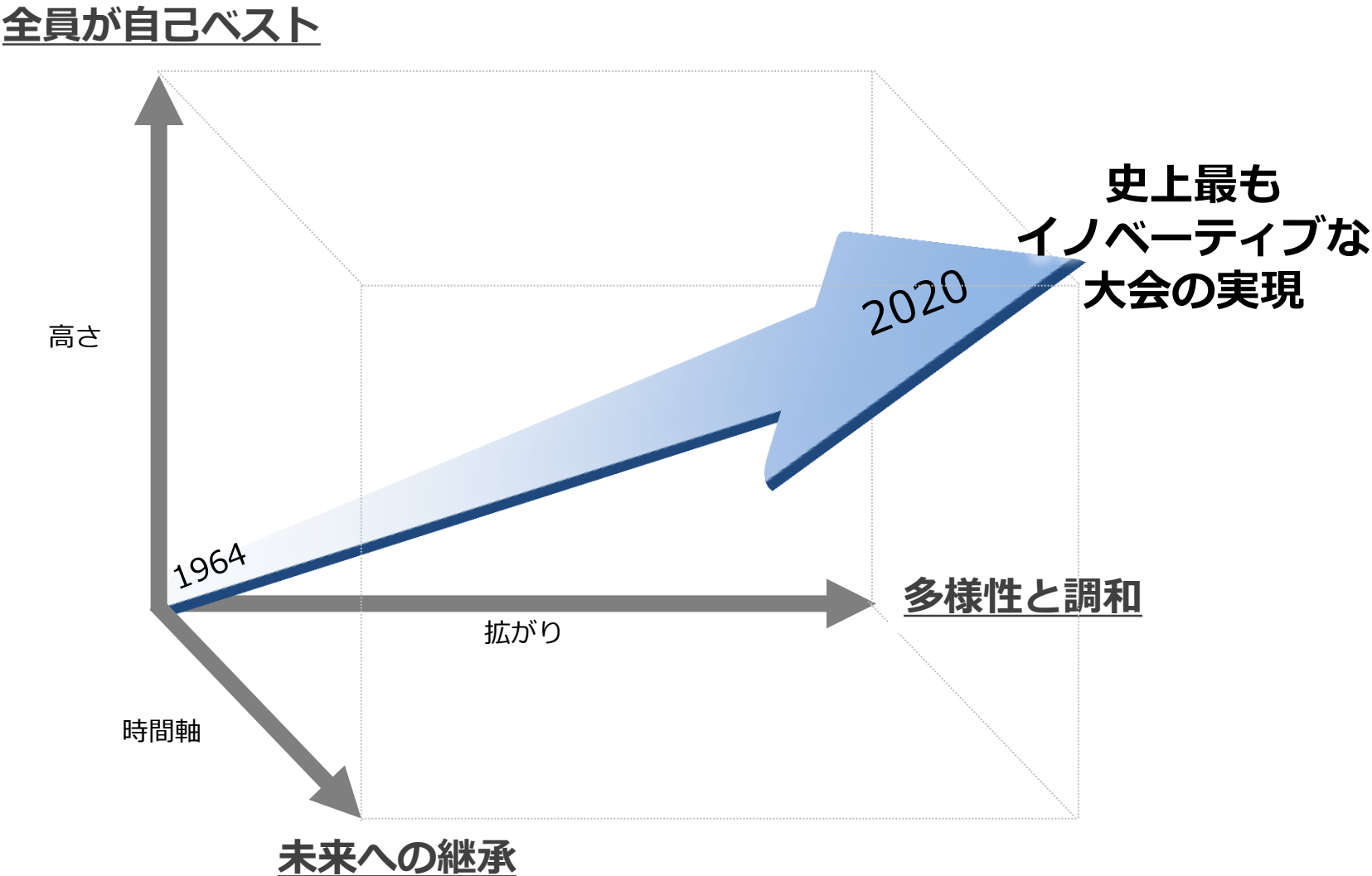
1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し（**全員が自己ベスト**）」

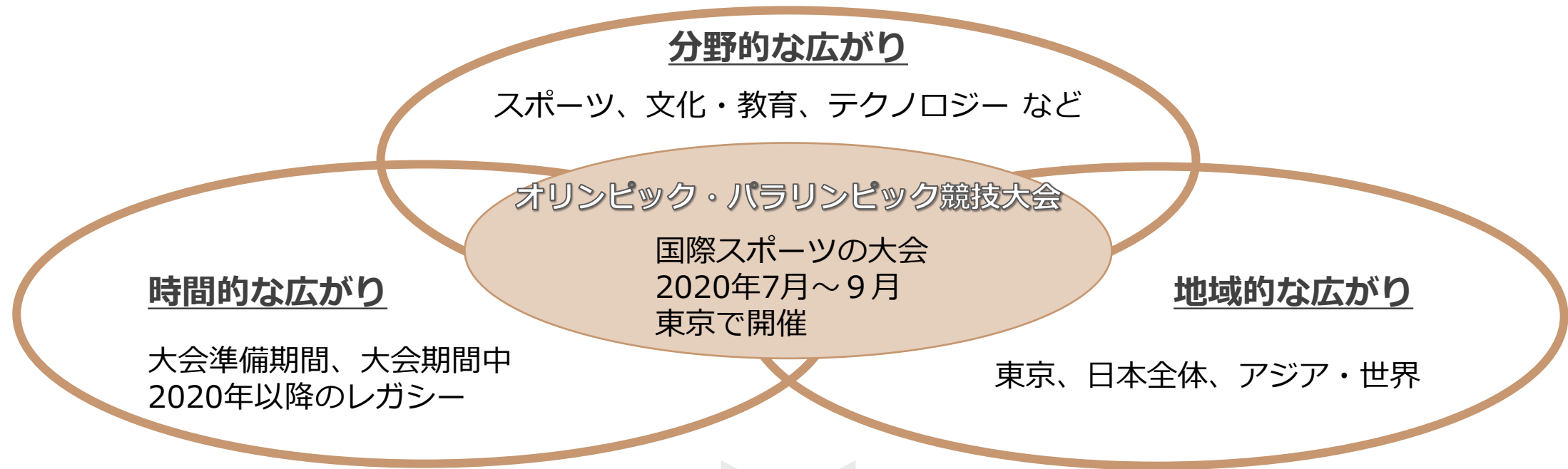
「一人ひとりが互いを認め合い（**多様性と調和**）」

「そして、未来につなげよう（**未来への継承**）」を3つの基本コンセプトとし、  
史上最もイノベーティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

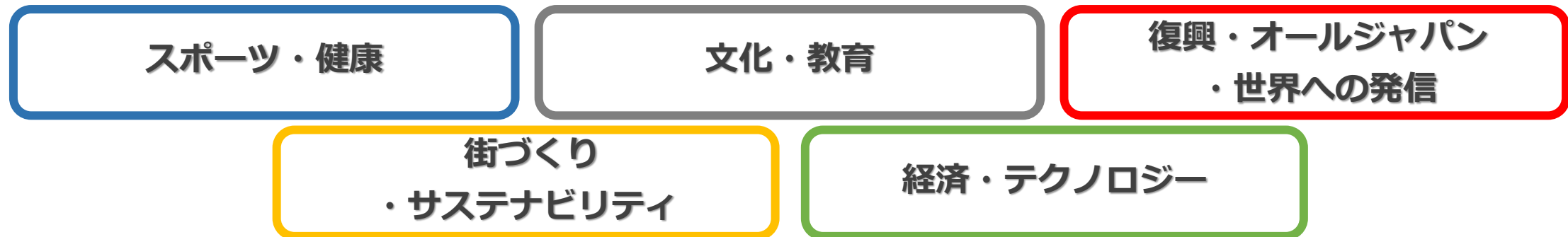
# 大会ビジョンのイメージ



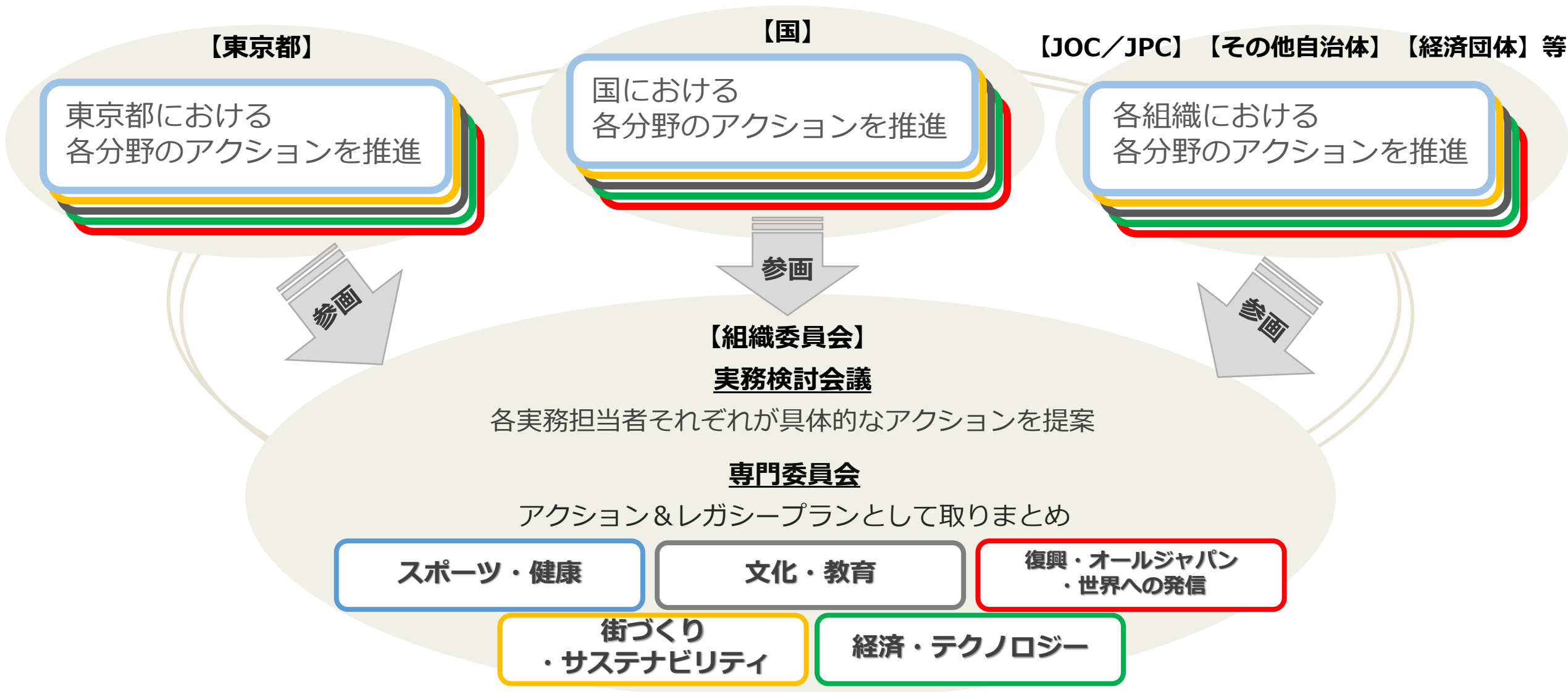
# 広がりのある取組を進めるための“5本の柱”



それぞれの分野で「ベスト」を目指し、多様な分野を「調和」させ、次世代に「継承」する

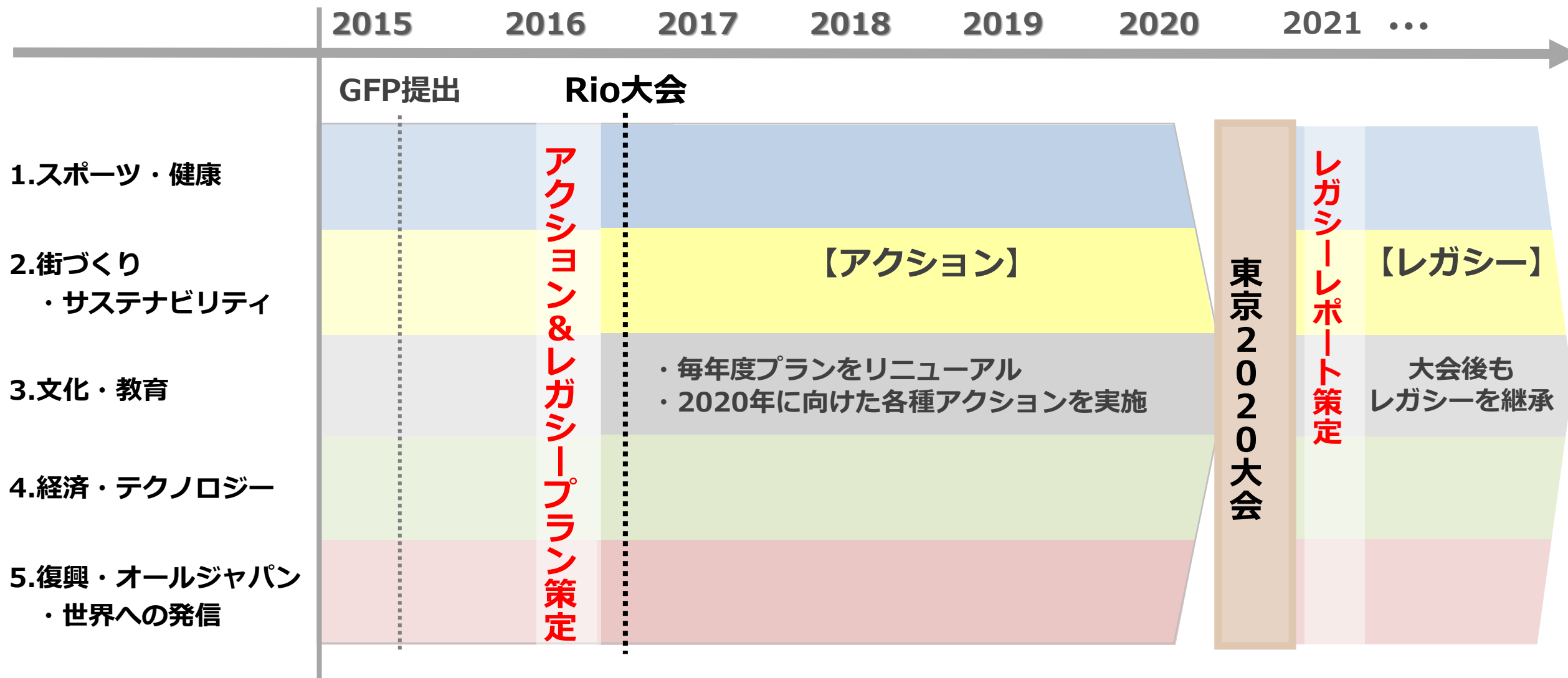


# アクション&レガシーについての連携



計画当初の段階から包括的なプランを策定、組織横断的な体制を構築

# アクション&レガシープラン スケジュール



# 参考資料：アクション&レガシーの例（１）

## スポーツ・健康

- 観客と選手が一体化した大会の実現や、政府によるスポーツ・フォー・トゥモローなどを通じた国内外へのオリンピック・パラリンピックの精神の浸透
- 大会に関連したスポーツイベントや高齢者や障がい者を含む草の根スポーツの振興を通じた健康志向の高まりや地域スポーツの活性化
- アスリートの発掘・育成・強化の更なる推進やNTC・JISS等の機能の充実によるトップアスリートの国際競技力の向上
- パラリンピック競技の体験やパラリンピアンとの交流を通じた人々の意識改革・共生社会の実現

## 街づくり・サステナビリティ

- 周辺地域の街づくりとの連携や大会後の有効な活用を想定した大会関連施設の整備
- バリアフリー化の推進や交通インフラ等の整備・充実による誰もが安全で快適に生活できる街づくりの推進
- 大会における燃料電池自動車の採用や再生可能エネルギーの活用、暑さ対策を通じたサステナビリティの重要性の発信
- 水素などスマートエネルギーの導入に係る取組の推進



# 参考資料：アクション&レガシーの例（２）

## 文化・教育

- 文化プログラムや開閉会式、聖火リレー等を活用した多様な日本文化の発信と継承
- 教育プログラム等を通じたオリンピック・パラリンピックの精神の浸透
- 大会観戦やボランティアへの参加、アスリートとの交流等を通じた国際社会や地域の活動に積極的に参加する人材の育成
- 国籍や人種、性別、障がいの有無など多様性を尊重する心の醸成

## 経済・テクノロジー

- 大会開催を通じた日本経済の再生と本格的成長軌道への回復への寄与
- 大会を最高水準のテクノロジーのショーケースとすることにより、日本発の科学技術イノベーションを発信
- 東京国際金融センターの実現

## 復興・オールジャパン・世界への発信

- 聖火リレーや文化・教育プログラムの実施を通じた東日本大震災の被災地への支援や復興状況の世界への発信
- イベントやアイデアの提案、ボランティア、寄付など、個人や企業等による大会サポートのメニューの提示
- ボランティアの採用、各種イベントや開閉会式等による全国的な盛り上げを通じた「オールジャパン」体制によるオリンピック・パラリンピックムーブメントの推進
- 大会を契機とする日本各地の地域活性化や外国人観光客等の誘致
- 各種イベントや大会を通じたオリンピック・パラリンピックの価値や日本的価値観の発信